

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31 年 3 月 27 日

事業所名 放課後等デイサービス URAURA 保護者等数(児童数)20名 回収数 16名 割合 80%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	81%	19%			・人数が多くなると狭い。 ・日によって活動スペースが違うようなのでどちらとも言えません。	適正人数を把握し、次年度中のスペース確保を計画します。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	81%	19%				
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	100%					
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	100%					
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	64%	36%			・活動の内容を考えて欲しい。 ・外出もさせてあげて欲しい。	・固定化を防ぐため、ミーティングにて確認します。 ・季節を考え、外出機会を増やすよう努めます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	8%	73%	19%			今年度は行事が中止になる等で実施できていません。定期的な取り組みを計画していきます。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%					
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	81%	19%				面談、送迎時のコミュニケーションに加え、定期的に保護者会を実施します。3/年
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	73%	19%	8%		支援の中で有効だと思ったことを聞かせて欲しい。参考にしたい。	・気づきや有効事例をお伝えしていくこととします。 ・定期面談を有効なものとするため、支援に必要な知識を得るための研修機会を設けます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	100%					H30年度は3回実施しました。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	73%	27%				苦情受付及び解決責任者を配置し、迅速に対応することとしています。
12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	92%	8%					

	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	65%	27%	8%			・法人機関誌が3か月に1回発行されますが、部門独自のお便り等はありません。 ・自己評価結果は3月中にHPに掲載します。
	14	個人情報に十分注意しているか	100%					
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	100%					
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか		100%				施設全体での訓練となっており、放課後等デイサービスの児童を対象としたものを継続的に行っていきます。
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	92%	8%			話せないので分かりません。	ご家族に利用中の様子が伝わりやすい取り組みを検討します。
	18	事業所の支援に満足しているか	92%	8%			障がいの状況を考慮し、活動をグループ分けして欲しい。	事業所としても改善が必要であると捉えています。次年度はグループ別の活動や個別活動の充実を図ります。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。